

Kunitachi Talk Ground

くにたちトークグラウンド、ここは話すための平らな場所。



Kunitachi Talk Groundは、どんな人にも開かれている、話をするための平らな場所を国立につくりたいという思いで名づけられました。色々な考えを持った人が集まり、話をし、聞いて、新しい発見が生まれるような場所にしていきたいと思っています。

ファシリテーター

加藤 健介さん 国立本店 ほんまち編集室

テーマ くにたちの アート のことを 話そう

(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団は、公募による野外彫刻のコンペティションを主軸としたくにたちアートビエンナーレを開催しています。このアート事業について、また今後行うアート事業について意見を交換し、様々な視点から得た知見を、別途実施している野外彫刻展のアンケートと合わせ経緯を公開します。

野外彫刻展についてのアンケートは、
こちらからも回答できます。 →
(9月30日締切)



2018年

第1回 9月 7日(金) 10:00 - 12:00

第2回 9月 8日(土) 10:00 - 12:00

第3回 9月12日(水) 19:30 - 21:30

くにたち市民芸術小ホール アトリエ

参加無料 / どの回からも参加可
各回先着20名(要予約)

お問合せ・ご予約 ※予約は8月5日より受付開始

くにたち市民芸術小ホール

☎ 042-574-1515 ✉ info@kunitachibiennale.jp

※窓口でも受付しています。受付時間 9:00-20:00 第2・4木曜休館

Peatixからもご予約いただけます。

<http://crosschat.peatix.com>

主催 公益財団法人 くにたち文化・スポーツ振興財団 後援 国立市



くにたちのアートのことを話そう

野外彫刻展アンケート (8/1～9/30実施)

(公財)くにたち文化・スポーツ振興財団では国立市との共催により、2015年からくにたちアートビエンナーレの主幹事業として、全国から彫刻作品を公募し入賞作品を市内に永年設置する「野外彫刻展」を開催しています。第1回、第2回と回を重ねて大学通りとさくら通りに計16点の作品が並んでいますが、あまり周知されていません。

そこで「野外彫刻展」について広く皆様のご意見を募り検討を行う資料とするためアンケートを実施、市内公共施設(市民芸術小ホール・市役所・公民館・中央図書館・福社会館・保健センター・北市民プラザ・南市民プラザ・郷土文化館)に設置したアンケート用紙に記入し回収箱に投函するか、ウェブサイトからご回答になれます。結果はくにたちアートビエンナーレHP及び財団広報紙「オアシス」12-1月号にて発表します。

ファシリテーター

加藤 健介 Kensuke Kato 国立本店 ほんともち編集室

(株)石塚計画デザイン事務所において、市民がまちづくりの主体となる社会を後押しする専門家として、主に住民活動の支援や参加の場づくり、後方の支援等を実践。2018年6月に独立。2015年から(公財)日本ナショナルトラストの地域遺産支援プログラムに従事。国立市では、本のある街の居場所「国立本店」の運営、書籍編集、「旧高田邸プロジェクト」等を実践中。

クロスチャット (9/7・9/8・9/12実施)

野外彫刻展のことだけでなく、くにたちで行うアート事業について話をする意見交換会です。

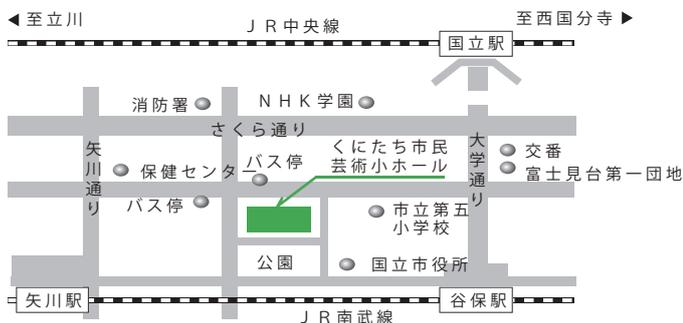
自由な雰囲気の中、活発な議論が展開できるよう、ファシリテーターを交えて意見交換会を行います。ゲストのパネリストはいないので、参加者がいて成立するトークイベントです。どなたでもどうぞお気軽にご参加ください。

収容人数に定員があるので、各回20名、事前申込制です。各回は基本的に同じ内容で進行するので、どの回にご参加いただいても問題ありません。

3回の議論の内容をまとめた資料は、上記のアンケート結果と合わせて公開します。

※記録のため写真を撮る場合があります。

※お申込みの際の個人情報については、本事業の運営上の目的以外には使用しません。



access

くにたち市民芸術小ホール

〒186-0003 国立市富士見台2-48-1 TEL 042 574 1515

※JR国立駅南口バス乗場：4番

矢川駅・国立操車場または国立泉団地行き

「市民芸術小ホール・総合体育館前」下車

※JR矢川駅 / 谷保駅から徒歩10分